

1 県立高校のバリアフリー対応の現状

(1) 考え方

- 県立高校のバリアフリー化につきましては、「県立学校施設長寿命化計画」に基づく改修工事の中で、「人にやさしい街づくりの推進に関する条例（人まち条例）」に適合するよう手すりやスロープを設置している。
- なお、学校に多目的トイレがない場合、管理棟の長寿命化改修の際に設置する。
- また、これとは別に、身体に障がいのある生徒の入学等にあたり、生徒本人や保護者からの要望に基づき、手すりやスロープの設置、トイレ改修や多目的トイレなどのバリアフリー対応を行っている。

(2) 進捗状況

- 県立高校の長寿命化計画の対象594棟のうち、2023年度までに181棟(30.5%)の工事が完了。2024年度完了予定の49棟を加えると230棟(38.7%)の改修工事が完了する。
- トイレについては、2019年度から2023年度までの5年間で短期集中的に普通教室棟、管理棟及び一部特別教室棟の湿式床のトイレにおいて床の乾式化及び洋式化を図った。
- 結果、バリアフリー化は順次進んでおり、例えば多目的トイレについては、2024年4月1日現在、県立高校150校中145校(96.7%)に設置が完了した。

2 県立高校のエレベーター設置について

- 県立高校のエレベーターについては、校舎の新增改築の際、人まち条例の適合義務（3階かつ延床面積2,000㎡以上）となる場合に設置をしており、2024年4月1日時点で150校中9校（6%）に設置済である。

区分	バリアフリー法		人にやさしい街づくり条例(県)	
	高等学校	特別支援学校	高等学校	特別支援学校
新增改築建物	2,000㎡以上	努力義務	義務(2F以上)	義務(3F以上)
	2,000㎡未満	努力義務	努力義務	(規定なし)
既設建物	2,000㎡以上	(規定なし)	努力義務	努力義務
	2,000㎡未満	(規定なし)	努力義務	(規定なし)

	学校名	設置年度	備考
1	旭丘	2001 (H13)	改築
2	愛知産業	1999 (H11)	改築
		1999 (H11)	改築
3	愛知総合工科	2015 (H27)	新築
		2015 (H27)	新築
4	岩津	2013 (H25)	改築
5	岡崎産業	2013 (H25)	改築
6	安城農林	2014 (H26)	改築
7	豊田東	2007 (H19)	移転改築
8	桃陵	2006 (H18)	特別支援学校校舎併設
9	宝陵	2009 (H21)	特別支援学校校舎併設

- 今後については、改築を進めている明和高校、春日井高校の校舎、高校再編に伴い稲沢緑風館高校に増築する校舎の合わせて3校4基へエレベーターの設置を予定している。
- また、中高一貫校に必要な中学校用の校舎6校6基の設置を予定している。

	学校名	設置年度	備考
1	明和	(教室棟) 2026 (R8)	改築(2027 (R9) 年4月供用開始予定)
		(音楽棟) 2026 (R8)	改築(2026 (R8) 年6月供用開始予定)
2	春日井	2024 (R6)	改築(2025 (R7) 年4月供用開始予定)
3	稲沢緑風館	2025 (R7)	増築(2026 (R8) 年4月供用開始予定)

	学校名	設置年度	備考
1	半田	2024 (R6)	新築 併設型中高一貫校の中学校用校舎 (2025 (R7) 年4月供用開始予定)
2	津島	2024 (R6)	
3	刈谷	2024 (R6)	
4	時習館	2025 (R7)	新築 併設型中高一貫校の中学校用校舎 (2026 (R8) 年4月供用開始予定)
5	豊田西	2025 (R7)	
6	西尾	2025 (R7)	

- なお、文部科学省の全国調査として、今年度、「学校施設のバリアフリー化に関する実態調査」が国公立の小中学校及び特別支援学校を対象に行われている。
この調査に合わせて、義務教育課程に在籍するエレベーターを必要とする障害のある児童生徒数についても、現在、市町村教育委員会に対して県独自に調査を行っている。